

不審者侵入 対処法学ぶ

老健とわだて
職員防犯訓練

十和田市の介護老人保健施設とわだ（堺春美施設長）は21日、施設への不審者侵入を想定した防犯訓練を行い、参加した職員約50人が万が一の事態に備え、

対応を確認した。

訓練は施設利用者への被害防止などを目的に、2016年度から毎年行っている。刃物を持った不審者が侵入したとの想定で実施し、十和田警察署（半澤一人署長）が協力した。

初めに、110番通報の受け答えを練習。実際に警察へ通報し、警察官から不審者の特徴や現場の様子など、本番さながらの聴取を体感した。その後、実際に不審者への対応を訓練。刃物を手に大声を上げる男に、対話で時間を稼いだり、刺股や椅子などで対処したりした。

訓練後に同署生活安全課の佐藤誠課長が不審者への対応を解説し、「興奮している人の制圧は難しい。警察が来るまでの時間稼ぎを心掛けてほしい」と強調。同施設の上野喜美男事務部長は「最初の対応など反省点がたくさんあった。今後に生かしたい」と話した。

施設に侵入した不審者への対応を学んだ訓練



（佐藤航）